



同窓会だより

第17号

平成7年8月20日
静岡県立磐田南高等学校
同窓会
印刷 総合印刷(株)大進堂

45年の伝統「はぐま祭」



ご存知-僕らのこんな姿を!

今年も恒例の「はぐま祭」が6月3・4日の2日間にわたって行われました。日頃の部活動の成果をまとめて、ご父兄をはじめ、他校の仲間たち、一般市民にもご覧いただきました。はぐま祭のしめくり「後夜祭」は、全校1,200余名が体育館に集結、ロックのリズムで熱気ムンムン踊りまくること3時間余。先輩の皆様は受験勉強に明け暮れる南高生を想像されると思いますが……いやいや、どうして……。



在校生から

同窓生の皆様の投稿を
年一回の同窓会だより、ささやかなコミュニケーションの場として、充実させて参りたいと思います。皆様からのご意見やご感想などが、心のこもった紙上交流には何より大切です。皆様のご投稿をお待ちしております。
(編集委員)

見中・磐田南高同窓会員の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろは、本校教育の充実・振興のために格別なご支援、ご協力を賜り心から御礼申し上げます。
今年の三月下旬、私は生徒三十名、教員四名、PTA会長とともに米国カリフォルニア州マウンテンビュー高校を訪問し、両校の友好親善と相互理解に努め多くの成果を得ました。本校生は日本文化の紹介に努めるかわら米国の文化、教育、生活習慣にふれて一回り大きく成長しました。
この国際交流は尾崎教育振興基金事業の援助によるもので感謝申し上げます。

お陰さまで会長一年



同窓会長 江間金作 (高5回)

ひたすら同窓会活動の活性化を念じて

同窓会員の皆様方におかれましては、益々お元気に活躍のことと拝察いたします。日頃は、同窓会の運営に対してご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。
本年早々、阪神大震災が発生し、特に神戸・芦屋周辺の同窓生が多大な被害を受けられ衷心よりお見舞いを申し上げた次第でございます。又、東京・横浜周辺では不気味な社会不安が発生し、都会に生活されている方々にはご心配な日々が続いたことと推察致します。
会長に就任して一年を経過致しましたが、その間役員・校内幹事の先生方のご協力のお陰で現在に至っております。
本年二月に臨時評議員会を開催し、懸案事項の同窓会会則の改正、同窓会本部

は、生徒は限られた時間内で懸命に努力をしておりますので、暖かく見守ってまいりたいと思っております。
本年三月から四月にかけて姉妹校の米国マウンテンビュー高校へ生徒三十名、先生五名、PTAより一名総員三十六名で訪問し、国際交流を深めて無事帰国いたしました。この事業も同窓会員の皆様から拠出していただいた尾崎教育振興基金のお陰でございます。謹んでご報告申し上げます。
本年は同窓会員名簿改訂版発行の年になっております。会員の皆様に一層のご協力をお願い致します。
母校の今後益々の発展と同窓会員皆様方のご活躍ご健勝を祈念するとともに今後一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

MESSAGE

先輩から

五月に開催された同窓会関西支部総会には、江間会長、梅葉、村田両副会長とともに私も出席し、阪神大震災のお見舞いを申し上げましたが、出席された方々の力強い復興へのご努力に心打たれるとともにとても有意義なひとときを過ごさせていただきました。一日も早い復興を心から祈念いたします。
今春卒業生の大学進学状況は実にめざましく、特に、現役の国立大学合格者数は百八十八名(昨年度比五十名増)で、過去最高

の記録です。授業を大切に真面目に平素から努力し、センター試験も県下トップクラスの成績を収めたことが見事な結果と結びつきました。
部活動等の活躍も、多くの部が県大会以上に出場し、文化面では県教育長賞や最優秀賞を受賞しました。今後とも文武両道、本校の名声を一層高めるよう頑張ります。本年度はベルとともに授業開始「授業を大切に真剣に切磋琢磨する」を定着させ大学進学を目指す一方、思いやりと感謝の心をもった感性を培う心の教育に一層力を入れて参ります。最後に、同窓会員の皆様をますますのご健勝とご活躍を祈念して近況報告いたします。

同窓会のお力添え 心から感謝

校長 柴田和洋



心の教育に一層の努力

目を閉じたトランペッター



高43回 高須厚志さん (豊田町出身)
関西学院大軽音楽部 (文学部3年)

『阪神大震災で西宮市にある関西学院大軽音楽部の花形トランペッターが亡く

う。「因縁めいたものがあったような気がして」と……省略……トランペッターは倒れた楽器棚の下から発見。部員が高須さんの実家に届けることにしており、恒さんは「熱中できることがあり、

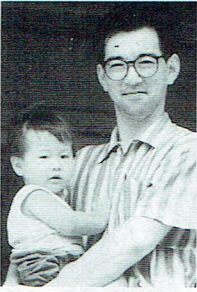
阪神大震災 一瞬何が……



高13回 伊藤 優
限界を超えた揺れ……

震災の前夜、帰省中の実家に別れを告げ神戸に戻ったその翌朝の惨事でした。あまりにも早すぎる、あまりにも酷すぎるこの若人の死を、同窓生一同深く悼むものであります。(村田)

中、戸板に人をのせた集団が通り過ぎて行く。救急車が来ないのだ。東の空を見ると幾筋もの真黒い煙が空を覆い、いつまでも明るくならない。その夜から親類宅に厄介生活。そのTVで火事が長田から須磨に広がっていく様子を写している。家が焼けたらしかたがないなと思いつつ長い一日が終わる。それから瓦礫処理場に並ぶ瓦礫車が増え続け五日には連日約10kmの列が並んだが、今ではわずかな列となり着実に再建に向かっていく。この度の震災で全国からの物心の支援に感謝しつつ、この日を振り返る。



静岡県教育委員会文化課 高28回 中山正典

遠江国分寺跡は、大正十二年に国の指定史跡となり、更に昭和二十七年に国の特別史跡となりました。



わが母校は 天平の藁の上に

平成六年度には、特に校舎改築に係る埋蔵文化財発掘調査として、県と磐田市が共同で校地内の部分的な確認調査をしています。わかったことを二つ挙げますと、一つは国分寺の寺域と推定される築地、溝が現校舎敷地下で確認され

と、国分寺の西と北の寺域のラインが推定でき、南校舎、北校舎、体育館、はぐま会館等がこの寺域の中に建っていることがわかりました。磐田南高校と遠江国分寺跡は道一本隔てて北と南に位置します。国分寺という奈良時代からの歴史をしのぶことができる史跡と教育の場である高校とが一体化すること、校地内に国分寺跡がありその歴史的文化的空間の中で、生徒たちが学び活動する素晴らしいことではないでしょうか。史跡の保存、活用と教育環境の整備が一体となってなされたとき、そこに現出される空間は、きっと磐田そのものを心ゆたかな都会にすることでしょう。

- ▽創立 平成5年5月22日
- ▽会員 近畿2府4県(大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山)在住の南高同窓生。
- ▽現会員数は約三百八十名、このうち神戸地区に約八十名を数える。
- ▽会員の特徴は、比較的若い年齢が多く、また支社勤務が多く、異動もはげしい。

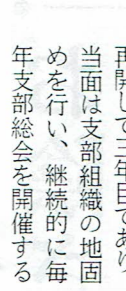
ことを目標に、その上で次の展開を考えたい。同期の何人かが、誘い合って出席する様な体制を。

関西支部
高橋 晋事務局長 (高8回) に伺いました。

初代 野村泰敏氏 (高3回)

二代 寺島四朗氏 (高4回)

〈会員の被災状況〉
神戸でも会員の住居が、郊外に多く、全般的な人的被害は、軽微であったが、関西学院大文学部三年の高須厚志さん(高43回卒)には、心から冥福を祈ります。家屋等の被害はさまざま、大阪でもマンションの貯水槽がこわれ、室内に浸水するなどの例も。救援活動は、支部として何もできなかったが、将来は何らかの救援体制がとれる組織づくりに努力。



▽支部活動
再開して三年目であり、当面は支部組織の地固めを行い、継続的に毎年支部総会を開催する

制を。

墓石・墓地造成工事

(有) 袴田石材店

代表取締役 袴田久夫 (高2回)

磐田市中泉485
TEL・FAX 0538-32-5612

学校、病院、工場、ホテル、レストラン
厨房設備設計製作、施工

株式会社 中松

代表取締役社長 加藤 武 (高7回)
代表取締役会長 加藤喜一郎 (高1回)

静岡市下島430-2 ☎054-237-6291(代)
浜松・磐田・清水・沼津

ご婚礼 (ご予約承り中!)

個性が光る「レストランウェディング」もおすすめ!

平成7年9月ガーデンチャペルオープン!!

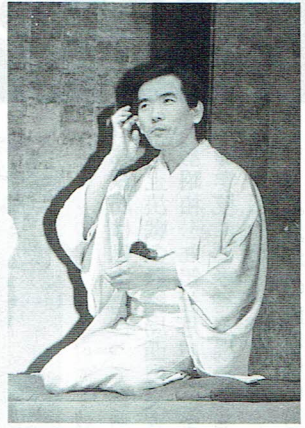
緑とレンガ造りのスペイン風ガーデンで、喜びと感動の瞬間を演出致します。

磐田グランドホテル

株式会社 ニューオータニ グランドホテル浜松
〒438 静岡県磐田市岩井2280
☎0538(34)1211 Fax0538(36)1012

顔

三遊亭圓王



静岡新聞提供 5/14 磐田市民文化会館での真打昇進披露

真(心)打登場

エー、毎度馬鹿馬鹿しい話で、ご機嫌を伺いますが……馬鹿馬鹿しいと言え……馬鹿馬鹿しいと言え……馬鹿馬鹿しいと言え……

圓王口上

遅ればせながら本年3月真打に昇進致しました。私の所属する落語協会では平均15年で真打ですが、私は少々寄り道をしたので18年

高座での彼は、雰囲気といい、話しっぷりといい、綿菓子にパンチをくわわせたような、何とも言えない不思議な人物。科学的に分析すれば、三次元的な人物といえましようか。

本名 廣岡 新 41歳 現住所 東京都世田谷区

真打披露 三遊亭圓王 5月14日 磐田市民文化会館 入場料 2,500円

大成功でしたね。率直に言って今のお気持ちは？

川島 まあ、ほっとしたというのが一番の実感だね。お金の面で何とかなったもんで。

当日の会場の盛り上がりはすごかった。あら笑会の力ですね。

川島 結果としてはね。みんな嬉しい気分が集ってきたのね。

川島 普通の公演よりもお客の気持ちが一割も二割も圓王真打だもんね。

八木 同級生に、当日の警備とか非常口係とか全部やってもらったのがありがたかった。

真打昇進 披露落語会 を終えて



5/28 はぐま会館にて インタビュー

あら笑会

- 会長……… [写真左] 八木正文さん 事務局長……… [写真右] 川島澄夫さん きき手 大石昭子・山本潤子

川島 そうだね。疲れた疲れたって言いながら、自然にニコニコしちゃう。無償でやった仕事の満足感を味わったのでは？

川島 そう、今回までに十三年間やってきたわけだからね。素人がこういうことをするのは、大変なんだけど、満足度が異なってくる。

川島 ありがとうございます。おかげで、あら笑会も大変だったでしょう。

八木 あまり堅苦しいことを言わなかったのが、良かったんじゃないかな。川島 なんとってても、卒業して二十年以上経っても電話一本で家族とつながるの、落語が真ん中にあるの、落語が真ん中にあるの、落語が真ん中にあるの……

川島 そうですね。でも、心地好い疲れ

八木 「うーん、疲れた。家へ帰って、すぐ寝ちゃったね。ものすごく気疲れしたから。」

でも、心地好い疲れ

八木 「うーん、疲れた。家へ帰って、すぐ寝ちゃったね。ものすごく気疲れしたから。」

でも、心地好い疲れ

八木 「うーん、疲れた。家へ帰って、すぐ寝ちゃったね。ものすごく気疲れしたから。」

でも、心地好い疲れ

八木 「うーん、疲れた。家へ帰って、すぐ寝ちゃったね。ものすごく気疲れしたから。」

でも、心地好い疲れ

捕虫網で蚊を退治する男・芸の道もユニーク

私もお客からふるさとサポーターの役を仰せつ

先々で「磐田良いところ住み良い所、お茶とメロンに

初代磐南亭美談志・兼子

和彦氏が私に「落語研究会

を引受けてくれたのか」と

「君たちがプロの落語家にならなければならぬ」と返事

「チケットを預かったけど、集約の連絡がなかなか来なくて心配したよ。」

川島 売れていなかったらどうしようと恐くて聞けなかったんです。切なかったです。前日の時点で九〇〇位しか売ってなくて。

「一番最初に話があったのはいつ頃なの？」

「「仁」は「人」に

も通じ、「芸」が最後の

術面が充実すればさらに

「良いところ」とも言われて

おりますので、その為には

落語を多く聴いていただく

に限りましては「文武仁

磐田信用金庫 理事長 鈴木 優 (高2回) 常務理事 神谷 忠男 (高3回)

豊田支部 支部長 大橋 敏宏 (高2回) 事務局 豊田町商工会内 TEL36-0121 齊藤 時男 (担当)

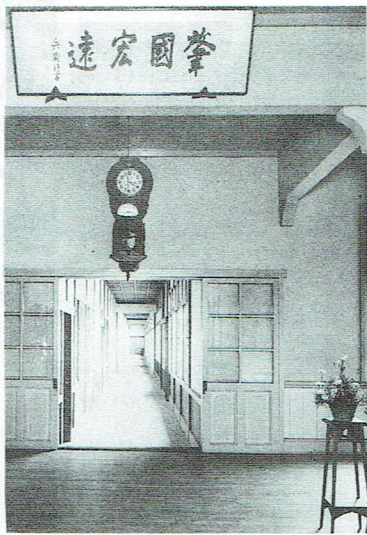
株式会社 エマ観光 代表取締役 江間 金作 (高5回) 本社/磐田郡福田町中島211の1 TEL. (0538) 58-1234 (代) 営業所/磐田市二之宮37の2 TEL. (0538) 37-5555 (代)

かな青春はあった

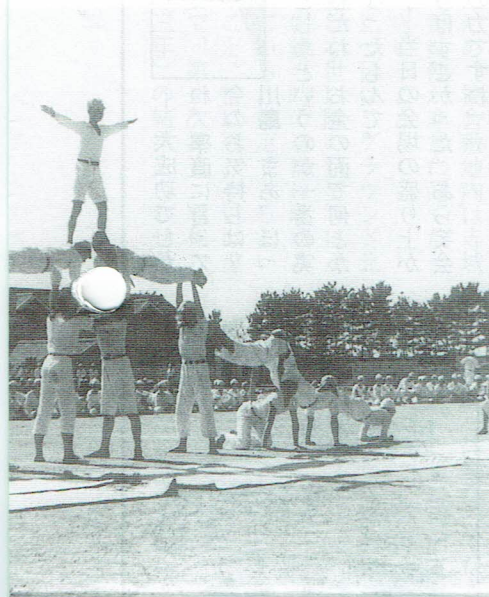
戦局は日本にとって利あらず、本土決戦の最終局面に突入する。昭和十九年七月、遂に全国の中等学校に、軍需工場への通年動員令が下った。

「ああ紅の血は燃ゆる」の歌は、教室が閉鎖されて工場に出動した学徒を、励まし勇気づける応援歌であった。しかし、あの歌は学徒動員の若者のみが知る、敗戦への切ない挽歌であったことを忘れることができない。

卒業旅行やクラブ活動など、平和な学園での思い出に乏しく、今



〈見中正面玄関〉昭和18年頃



◀校内体育大会(昭和18年11月5日) 2年生の組体操



空襲下の倉庫の中の卒業式

見中20回

柏原博一

平成七年五月二十八日、「恩師と友を偲ぶ会」を開く。最後に招魂碑への献花を終ってから、校庭の西に連なる防風堤を一同はただ黙って眺めていた。あの日から五十年余の時が流れていた。



……あの時私は……

防風堤の記念撮影

その日、それは昭和十九年八月一日、四年生の時であった。戦局がいよいよ急を告げる中で、遂に「学徒動員令」が下り、私たちは名古屋に隣接した西枇杷島町の「三菱重工工業名古屋機器製作所」へ行くことになった。その出発を前にして、防風堤の斜面へ並んで、先生方との記念写真を撮影したのである。

尽忠報国

この時、すでに憂国の志をもって陸軍や海軍へと身を投じていた友も多かった。「お国のために自分の命を捧げる」ということが、なんの抵抗もなく、ごく当たり前のこととして実行されていた時代であった。

秋・大脱走

濃尾平野の風が肌に冷めたく感じられるようになって、

最後の見中生の記録

〈記念誌原稿より〉

見中21回

動員中の学校

見中21回生は、昭和21年3月(4年)と昭和22年3月(5年)に分かれて卒業した。平成8年は卒業50周年の記念誌刊行を計画。

動員先工場「被爆」

中21回 鳥居信夫
日業天竜工場へ出勤する。日業天竜工場が空爆に見舞われた五月十九日は、朝からどんより雲が覆い、何か無気味な日だった。目の前が上がった閃光と硝煙、おおい被さるような大音響。爆弾の炸裂するそうした光景に度胆を抜かれ、とっさに南に向かって走り出した。

工場空爆の犠牲

中21回 飯田正雄
翌朝、行方不明の下級生三人を、直撃の防空壕から掘り出した時の慟哭は決して忘れない。三人は木工課棟からベニア課棟への通路に沿う壕で発見された。スコップで掘り進むと間もなく顔が現れた。何の傷跡もなく、生前の顔そのままなので、もしや?と期待が持たれたが、頭は無残にもつ

粗食そして夜勤

修学旅行気分の夢は、工場への到着後あっという間に崩れ去った。食事は米飯とは程遠い代物で、しかも量が少なくてまずい。その上勤務は昼夜二交代制の十二時間労働で、特に深夜の油にまみれた立ち作業は身が人や病人が続出したが、そのわずかな休養が貴重な憩いのひとときでもあった。

空襲下の卒業式

名古屋への爆撃は、昭和十九年十二月十三日から始まり、爆弾と焼夷弾で昼夜の別なく繰り返されたが、幸いにも私たちの工場への直撃は免れることができた。昭和二十年三月二十九日、工場の一隅にあった倉庫の中で、第二十回生の卒業式が挙行された。

この年八月十五日、太平洋戦争も終戦を迎えた。

列車警乗隊参加
中21回 青田 正
貨物列車の護衛に当る「列車警乗隊」員として、県下中学校への募集があり、応募したところ指名を受けたのです。確か、七月二十四日と思いましたが、警田駅から出発する時に、駅が機銃掃射を受け、私と同じ班員の御殿場美業の生徒が、足を射たれてしまいました。この日は、浜松までしか汽車が動かず、浜松市平田町の大蔵寺で仮泊。布団など無く米俵の中にもぐって寝ました。初めての経験でした。

株式会社 **ビッグスポーツ**
 磐田市七軒町525-1 TEL.0538<34>7181
 FAX0538<35>6453
 代表取締役 桑原宗彦(高11回)
 スタッフ(高7回)

企画/デザイン/印刷/ビデオ
 株式会社 **大進堂**
 〒438 静岡県磐田市岩井2295
 TEL(0538)32-9165代 FAX35-3720
 代表取締役 鈴木康之(高6回) 専務取締役 鈴木功三(高12回)
 鈴木 浩(高27回) 鈴木隆之(高34回) 大石正直(高38回)

—あなたの歴史に思いやりを—
シイキ写真館
 椎木泰行(高6回)
 椎木雅明(高33回)
 本店 磐田市加茂川通り2923 ☎0538-32-6435
 浜松店 ホテルコンコルド浜松3F ☎053-452-1231

見中21回生以外で上記記念誌をご希望の方は、本年12月までに葉書でお申し込み下さい。頒価は別紙参照。

戦後50年

……戦火に消えた学園生活……

戦火の中にも 確

昭和18年12月勤労奉仕
豊田町農家にて

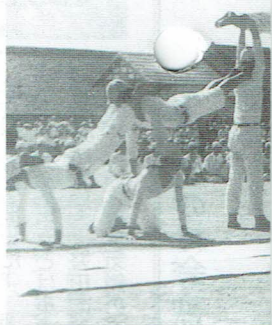


も仲間に通ずる感慨は、勤労員での苦しい汗と空腹が、記憶に残るのみである。
同じ学徒動員でも、第二〇回卒業生は故郷を離れて、愛知県西枇杷島の三菱重工に動員され、この地で一年も早く卒業式を迎えた。まさに敗戦の時、昭和二〇年三月である。
やはり平和は尊い。学徒動員という不幸な体験を、再び子供や孫達にさせてはならない。それは、今も私達に通ずる切なる願いであるといえよう。

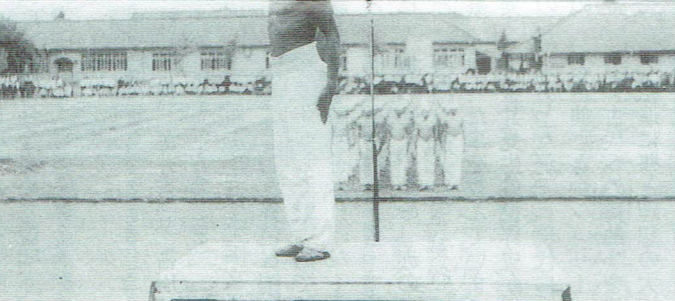
見中19回 鈴木直之



大和号(文部省型)の完成を記念して 昭和16年7月9日校庭で



知れない。
逃げても逃げても追ってくる爆弾の音に、「もうか。」と思った。そんな時目の前で、当時地方に駐屯していた兵隊が、「此処へ入れ。」と自分達の掘った壕へ引き入れてくれた。



第4回豊田町体育大会 昭和19年5月27日於校庭
伊藤菊造先生の指導で3年生の「海軍体操」

ぶれ、やっぱりと、直撃死の残酷さを見せつけられた。駆け付けていた二両親の泣き崩れる姿が今もって脳裏に焼き付いている。
悲しみもさることながら、強い敵愾心を覚えたのも忘れられない。

国土防衛訓練

中21回 小林睦可

二十年六月一日から二週間余り、三重県で行われた国土防衛の特別訓練に参加した。二級先輩の鶴飼久市さんと一緒であった。学生服にゲートル、背嚢を背負い三八銃を担ぎ、一端の祖国防衛の戦士の積りになった。名古屋駅前広場に集合し、小隊を編成、電車で三重県一志郡久居町へ。県立久居農学校が会場で、中部七県の中学代表が集結した。

松、中央線は多治見、関西線は亀山、武豊線は武豊間でした。機関車のすぐ後ろの無蓋貨車の真中に銃座を設け、機関銃を据えていました。中央線はトンネルが多く、機関車の煙で顔が真っ黒くなるので、手前の駅で機関車の前に乗り移り、出るとまた元に戻っていました。夕方故郷に向って敬礼をします。夕焼けがこれ程さみしいと思った時はありません。この時は本当に少年にもどりました。

訓練は敵の上陸に備えてタコ壺に隠れ、爆弾を抱えて敵戦車の下に飛び込む。そのための匍匐訓練が殆んどであった。
硬い石ころの多い運動場で、重い三八銃を捧げての匍匐前進である。膝や肘の皮は破れ、血は出るし、聴覚は麻痺する。それでも怒鳴られる怖さと、他県の中学生に負けたくない思いで、我慢して前進するのであった。

八月十三日頃の午後三時前、名古屋から稲沢に帰って来た時、P51戦闘機の空襲中でした。近くの対空部隊から応戦する機関砲の音が聞こえていました。私達もすぐ貨車の上から応戦しましたが、敵機の攻撃は厳しくいつか対空砲火は沈黙し、私達の銃も故障してしまい、班長の退避命令で私は貨車の下に潜り込んだのですが、前の方にいた機関士の人が撃たれ負傷したので、攻撃の合間を見て、線路と道路の間の水路に胸まで浸かっていました。



戦没同級生の慰霊祭 2/11 於行泉寺

高1回

折井孝一郎

昭和十九年十一月、東南海大地震の直後緊急学徒動員令が下って彼等は学窓を後にしました。戦局が悪化するにつれ動員先の軍需工場は集中爆撃の標的となり、次から次へと若い命が絶たれていきました。
「君たちは二十の声も聞かず散ってしまいました。あれから五十年、私達は今孫とたわむれながら平和を享受しています。散るも残るも当時紙一重だったことを思うと、君達に對しま

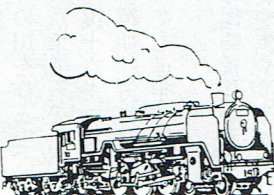
とに申し訳ない気持ちで一杯です。」
当時九死に一生を得た私の慰霊のことばが終りに近づくに連れ、会場からはむせび泣きの声も。
最後に加藤喜一郎君の音頭により学徒動員の歌の合唱。
「花も蕾の若桜、五尺の命引下げて、国の大事に殉ずるは、吾ら学徒の本分ぞ、あゝ、紅の血は燃ゆる。」
私たちは軍国主義とか侵略戦争とか、そんなものと



は程遠い力溢れる若者が力弱き年寄りや子供を守らなければ、という使命感から紅の血を燃やしました。
このことは同世代のものにしかわからない青春の一駒として、しっかりと胸の中にしまっておきたいと思

夜は歩哨訓練があり、敵襲を想定しての非常呼集で起こされた。その度に完全武装して集合する。点呼が終れば匍匐訓練である。一夜に五回も非常呼集が掛けられた事もあり、又雨上りの夜の事もあった。点呼の後、よもやと思う号令で、又匍匐訓練、地面は泥濘み、墨を流したような漆黒の暗夜、何も分らず唯無闇矢鱈と前進するのみ、水の溜った防空壕に次々と落

P51が機銃掃射してくるのが、真正面の目の高さに見える、バタバタとなぎ倒された草が頭に倒れて来ました。この時は、怖ろしいという気持ちは全く無く、頭の中が真っ白くなり、思考力はありませんでした。本当に短くて長い一時でした。静寂が戻りふと気が付くと、母が渡してくれたお守りをしっかりと握っていました。



再び学徒動員を許すな……

戦後50年

あの時私は……

木質床材
天龍プレパーク 株式会社
製造元 天龍木材株式会社 建材事業部
代表取締役社長 横井市郎 (高8回)
〒438-02 静岡県磐田郡竜洋町宮本350
TEL <0538>66-3135(代)
FAX <0538>66-4832

総合建設業
価値あるものを、次代へ。
株式会社アキヤマ
静岡県磐田郡豊岡村下神増173-3(〒438-01)
TEL<0539>62-2300(代) FAX<0539>62-2283
代表取締役社長 秋山 錠介 (見中16回)
専務取締役 秋山 三郎 (高8回)

天竜・奥三河国定公園 鳳来峡
日観連会員
ししなべの宿 **赤引温泉**
レストラン **奥三河**
〒441-16
愛知県南設楽郡鳳来町大野字中楠4-3
TEL 05363-2-1531
FAX 05363-2-1533

問合せ・申し込みは 佐野尚男へ
〒438 磐田市見付五八三三四
電話 三二一四六七



毎年11月11日に開催。母校開校の大正11年にちなんで？

懐古談なし同窓会

時事問題に花咲かす

見中1回

11月11日11時莫逆の友、見付「大孫」に集う。この数年来同月同日同時刻恒例の光景である。

集合の紳士は見付中学校第一回卒業の先輩、目的は勿論同窓会で、世話人は磐田市の水野脩之介氏、豊田町の藤沢光次氏である。開催日時11月11日11時、母校開校の大正11年に因むものと勝手に推測していたが、

元気印の大先輩

ラッキーセブンの「七友会」

見中7回

見中七回卒業生（現在六十五名）で構成。三年前からは、偶数月の七日に、権現町のピュアに十数人集まり、会費千円で昼食をしながら、思い出話、近況報告と楽しい一時を過ごす。

はるげくも

来つるもの哉

百合山生記

私共、見中七回生は昭和三年の入学時は約一五〇名（乞高恕、正確数不明）現在生存六十五名。はるげくも来つるもの哉との思い切りです。就いては此の際と、八十才（傘寿）記念クラス会を計画。十八名の発起人して、諸友に檄を飛ばす。時は北遠の桜開花を見込んで本年の四月三、四日

七友会

（泊二日）所は浜北市県立森林公園内森の家と。運よく当日快晴。秋葉ダムは満開。バスを用意して、畏友栗田兄心入の園内林業技術センター等を見学。春色を賞でつつ秋葉山に参拝。九州、東京方面からの参加者もあり車内は賑わう。然し一方、是非とも参加と張り切りましたが、生憎の本人は体調調其の他の事由によりそれも叶わず。遂に執心を残したお方が数名。されど兎に角にも二十七名（含夫人同伴）の盛況裡に無事円成。また帰次には船明夕ム湖畔鷺の家にて、秋葉神



指向の素晴らしいこの先輩により作られたという思いを深くした。平成9年は卒業70周年と卒寿を迎えられるが、これからもご健健で談論風発、管鮑の交りをつつまでも続けていたいただきたいと願っている。

「世話人以外の出席の方々の紹介」 敬称略 池田眞義（神奈川）・岩波重三（愛知）・牧野誠一（静岡）大杉亮一、斎藤太郎、鈴木武雄・前島謙治（磐田市）、熊谷 康、倉島節次（豊田町）（高8回 梅葉修司記）

「平成の浦島太郎」と。思えばこれも、七友会を続けてきたささやかな功徳のご利益かと嬉しかった。さて、ところで此の先はとなりませんと……いかに鑿鑿の諸兄とは申し乍ら……重ねての招集は至難のことですが、中には米寿はともかくも八十五才ならばどうかとの心強いご提案も有之。

「三人の先生を囲む会」を先年東京で催した折、（私達のクラスばかりではなく、先生に教えを受けた人達が全国各地より集まった）参加者が先生方に一言づつメッセージを言うことになった。三人の先生が私達の中でいかに、ずっと（卒業して33年がたつ）慕われて来たかを、最も如実に物語るものとして「私の人生で最大の宝物は三人の先生方と素晴らしい同級生です。二番目が主人で、三番目が子供達……」という挨拶が、ありました。

三人の先生方とは東京教育大を出たで磐田南校に赴任した、新進気鋭の石原弘也、金井秀一、古川稀久の三先生方のこと。石原先生は中国文学をベースとした異色な国語の授業が楽しく魅力的で、貴重な箇所をさりげなく、赤の二重傍線」と言って皆を笑わせた。この、赤の二重傍線」が後年、大いに役立つ事柄を覚えています。金井先生は世界史が担当であったが、「現代に生きる古典」とかシュリーマンの「古代への情熱」を使って私達に夢と理想の大切さを説かれた。

磐田南高校と3人の先生 高14回 鈴木 繁 高14回 鈴木 繁 高14回 鈴木 繁

もしもそのように本案実現ともなりませんれば……。「やがて愚陀佛のけしきも見えず蟬の声」 「笑讀了多謝。

見中校旗誕生の話 鈴木 雪雄 昭和七年六月頃のある日、尾崎校長に、「うちの学校にはどうして校旗がないのですか。」と聞いた。校長先生は「も簡単に、それは金が無いからだよ。」といわれた。私は、「それは金を持ってくれば、校旗を作ってくれますか。」という、校長は、「そうだよ。」と答えた。

創立間もない母校 土屋 稔 尾崎校長の教育方針はスパルタ、労作教育で、その重点順序は、労作、勉学、体育でした。朝、寒中でも素足になり廊下の雑巾がけ、終るとラッパの合図で授業開始。先生が入室する迄瞑目。制服は手を入れないようズボンにポケット無し、襟巻、時計、手袋など論外。でも少しの慰みとしてズボンに割を入れてラッパにするモボもいました。

七友会 土方の記憶としては奉安殿の廻りの川を作る為、天竜川に大八車で石を拾いに行く。往復十六キロ、ドカ中の面目躍如。労作教育でしぼられても進学率は優秀でした。

また、古川先生は全くの新任であったが、「The New Art of English Composition」というテキストを使っての英語は、田舎者の我々には新鮮なものでありました。

総合建設業 石川建設(株) 取締役社長 石川大造 (高12回) 磐田市今之浦5丁目1番地の1 TEL(0538)36-0021

ニュー遠州自動車株式会社 鈴木偉夫 (高11回) 〒435 浜松市篠ヶ瀬町412 TEL(053)421-9611(代)

地域とともに夢と豊かさを広げます。 静岡銀行 SHIZUKA BANK 大津善敬(高23回) 原田融(高24回) 平野幸次郎(高24回) 忍(高11回) 鈴木雄一(高20回) 牧孝俊(高21回)

伊藤武君の死を悼む

見中17回 木船賢一郎



生あるものは必ず滅すとはいうものの、君の急逝は、今もって現実の感が生れず茫然自失、いふべきことばさえ浮かばないところであり、まことに浮世の果敢なきと人生の無情を嘆せざるを得ないのであります。

君が、昭和十三年三月の入学試験にお母さん付添でタクシード来たことを憶えています。一年C組、級監は鈴木泰山先生。歴史の授業は楽しいものでした。九月一日の航空記念日に、自転車と連ね浜松飛行場へ爆撃機を見物に行きました。荷台に布団を丸めてしぼりつけ自転車で大円寺に行

勞奉仕と一緒に汗を流しました。君は、卒業後早稲田大学へ進学しました。その後自衛隊へ勤務した後、浜松自動車学校を創立し、今日の浜自グループの発展を見るに至ったのであります。一方地方自治に貢献し、県議会議員の重責を果しました。また母校後援会理事長として施設・設備を完備しました。

この五十年にわたる長い間、私は君と親しく交わりをつづけ、同甘同苦ともに励んできました。そしてお互いに心の灯としてきたのであります。心から哀悼の意を表する次第でございます。

見中から南高になって、見中時代の校歌も応援歌も我々に引き継がれていきました。昭和30年、私たち8回生が3年生になったとき、生徒会で校歌を作ろうということになり、生徒会長のご指名で、私にやれという声がかかりました。数名で「南高校歌作委員会」を組成。いろいろ検討した結果、見中時代の校歌復活の方針が出されました。

高26回生が総会当番年次を機に作成し「校歌・応援歌ものがたり」を次号で紹介します。

一部相応しくない字句があり、何とか現在に通ずるものに直したいと考え、私の原案をもって、当時の木原校長と長時間議論しました。

校歌 制定の想い出

「尾崎楠馬物語」(はぐま記念館蔵)から得た情報により、高知市の東に位置する安芸市赤野町を訪ね、ご近所の方や、先生の甥にあたる尾崎光男氏と会い、生家跡を教えて頂きました。又、安芸や本町の船本家(母堂の実家)の船本浩一郎氏(先生の又従兄弟)ともお会いできました。更に、詳しい方で、高知市在住の義理の妹の船本寿子さんを紹介されましたが、入院中で、ご高齢(85才)でもあり、この時点では、家系図、家族関係の子細は分かりませんでした。その後、多くの方から好意的な情報を寄せて頂きましたので、またいつか皆さんとゆっくりお話できればと考えております。思い返してみれば、奇しくも没後40年の訪問でした。写真は1994年8月6日。先生の生家跡にて。尾崎光男氏(先生の甥)と私(木野)

高知 尾崎楠馬先生の生家を探ねて



平成2年の総会当番を担当した時、スライドを作成して以来、私は、かねてより尾崎楠馬初代校長の「生地」を見非訪ねてみたいと考えていたところ、平成6年に、大学時代のOB会を高知で開催することになり、その機会を得ることができました。

長崎大学のサイクリング部の初代部長高橋光男先輩が高知市在住であり、その先輩が四方八方に連絡を取って下さり、やっと先生の生家の凡その場所が特定できました。

「尾崎楠馬物語」(はぐま記念館蔵)から得た情報により、高知市の東に位置する安芸市赤野町を訪ね、ご近所の方や、先生の甥にあたる尾崎光男氏と会い、生家跡を教えて頂きました。又、安芸や本町の船本家(母堂の実家)の船本浩一郎氏(先生の又従兄弟)ともお会いできました。更に、詳しい方で、高知市在住の義理の妹の船本寿子さんを紹介されましたが、入院中で、ご高齢(85才)でもあり、この時点では、家系図、家族関係の子細は分かりませんでした。

その後、多くの方から好意的な情報を寄せて頂きましたので、またいつか皆さんとゆっくりお話できればと考えております。思い返してみれば、奇しくも没後40年の訪問でした。写真は1994年8月6日。先生の生家跡にて。尾崎光男氏(先生の甥)と私(木野)

誌上同窓会 「再会40年」を発行

高6回 高橋廣治

平成六年度は南高同窓会の十年目毎の担当行事の中で、寄付だけを行う年次だったので、何か記念になることをと考え、一人一頁を分担する誌上同窓会を提案しました。

開催し、刊行を記念致しました。誌上に登場した恩師の夏、七十七人の同期生の夏、母校の思い出や現況を写真に託し、部活名(蹴球部、排球部、庭球部等)入りのクラス別名簿も当時の思い出には充分だったようです。早速、母校のOB文庫にも仲間入りさせていただきます。



写真(下)は、同窓会へ20万円の寄付と誌上同窓会「再会40年」を出版した高6回生たち

可愛らしいアーチ型の葡萄棚をくぐると、とても落ち着いた雰囲気な貴方にホッと一息つかせてくれることでしょう。

南高卒の女性像とは?の第二弾はもうお一人、高8回生を御紹介します。「器用だったら結婚と仕事を両立していたかもしれないけれど、仕事がちょっとおもしろくなってしまっ」と、爽やかな微笑でちよっとはにかんでいるかのように推察できるのは、永遠の恋人たるこの女性ならではの風情とお店の上品さからなのです。

下昌司氏の作品が店内のムードとよく調和して、精神世界の広がりさえ感じさせてくれます。女性客にも大人気の裏に隠された秘密は、手作りのパイ生地、ソースの煮込みから新鮮な材料、盛りつけまで基本的に「ヘルシー」であることを心掛けていること、と女主人の意気込み

が伝わってきます。「お客様の前にお料理を置いたその瞬間にお客様の顔の表情がパッと輝いていくこと、それが私の生きがいかしら。」と。葡萄棚の葡萄の実を一粒今年貴方も味わってみませんか。素敵なお人と一緒に。(取材 村田)

平成7年度 同窓会役員

会長	江原全太郎	高5回
副会長	桑梅修三	高7回
副会長	鈴木功三	高8回
副会長	橋本洋三	高12回
副会長	山本教賢	高14回
副会長	村田孝一	高16回
副会長	折井孝一郎	高18回
監査	鈴木茂徳	高1回
監査		高9回

〈校内幹事〉

顧問	青島正修	高2回
顧問	中村末男	高5回
	川田澄夫	高6回
	寺藤達夫	高6回
	後山本一	高8回
	長谷川敬一	高8回
	安達正和	高11回
	兼居勝彦	高11回
	兼居勝彦	高13回
	鳥居孝典	高15回
	松本木村	高18回
	松崎久健	高21回
	吉大真一	高23回
	鈴木有美	高25回
	加藤定ろ	高27回
	加藤定ろ	高27回
	井智弘	高29回
	松下和一	高31回
	駒形充一	高33回
	野村賢達	高34回
	野村賢達	高34回
	藤村一也	高35回
	平出敦子	高40回

「器用だったら結婚と仕事を両立していたかもしれないけれど、仕事がちょっとおもしろくなってしまっ」と、爽やかな微笑でちよっとはにかんでいるかのように推察できるのは、永遠の恋人たるこの女性ならではの風情とお店の上品さからなのです。

下昌司氏の作品が店内のムードとよく調和して、精神世界の広がりさえ感じさせてくれます。女性客にも大人気の裏に隠された秘密は、手作りのパイ生地、ソースの煮込みから新鮮な材料、盛りつけまで基本的に「ヘルシー」であることを心掛けていること、と女主人の意気込み

が伝わってきます。「お客様の前にお料理を置いたその瞬間にお客様の顔の表情がパッと輝いていくこと、それが私の生きがいかしら。」と。葡萄棚の葡萄の実を一粒今年貴方も味わってみませんか。素敵なお人と一緒に。(取材 村田)

不動産のトータルサービス 地域の「相談所」

(有)秋葉不動産

代表取締役 山本 賢 (高16回)

TEL0538(32)4555

マツヤデンキ

浜松南店・浜松宮竹店・豊田店
竜洋店・袋井店・今之浦店
大東店・O A ランド 磐田店
O A ランド 宮竹店

マツヤデンキグループ・株式会社 青島デンキ

谷島屋書店

磐田店 西町 ☎(0538) 35-5778
サンテラス磐田店 ☎(0538) 35-1855
西貝塚店 ☎(0538) 32-5197

静岡県下50店舗で奉仕する谷島屋グループ

2年間の大学合格状況

(数字は過年度卒を含む合格者延べ数)

国公立大	6年		7年		私立大学	6年		7年		
	6年	7年	6年	7年		6年	7年	6年	7年	
北海道	4	8	昭	和	女	子	5			
弘前	1		武	蔵	工	業	11			
岩手	1		青	山	学	院	4	13		
東北	12	6	学	習	塾		6	5		
山形	1	3	慶	応	義	塾	25	24		
茨城	5	1	国	学	院		3	1		
図書館情報	2		国	際	基	督	教	2	1	
筑波	6	8	国	士	館		4	9		
宇都宮	4	3	駒	沢			9	14		
群馬	3	1	芝	浦	工	業	17	18		
埼玉	3	2	上	成	蹊	城	10	6		
千代田	3	6	成	成			2	6		
お茶の水女子	4	2	専	修			11	11		
電気通信	6	2	大	東	文	化	9	9		
東京	7	9	拓	殖	中	央	4	2		
東京医科歯科	1		中	央			20	16		
東京学芸	4	6	津	田	塾		5	4		
東京工業	2	5	帝	京	海	経	12	13		
東京農工	1	5	東	京	女	子	3	2		
東京外語	6	3	東	京	電	機	10	8		
一橋	6	11	東	京	農	業	6	9		
富山	1	2	東	京	東	洋	14	7		
山梨	3	5	東	京	理	工	9	4		
山梨	4	5	東	京	理	工	9	4		
信州	5	5	日	本	女	子	3	3		
岐阜	1	1	日	本	女	子	3	3		
静岡	32	50	法	政			25	27		
浜松医科	3	2	明	治	学	院	5	13		
名古屋	10	11	明	治	学	院	5	13		
名古屋工業	2	4	立	早	稲	田	18	22		
愛知	4	2	神	奈	川	学	4	10		
三都	4	7	東	葉	学	園	9	8		
京都工	5	4	常	葉	浜	松	5	3		
大坂外	2	1	静	岡	理	工	9	4		
大坂教	2	2	静	岡	理	工	9	4		
神戸	1	4	愛	知	学	院	3	11		
奈良教	1	1	愛	知	学	院	3	11		
岡山	4	4	愛	知	工	業	23	16		
広島	5	5	中	古	屋	外	6	4		
徳島	1	1	名	古	屋	女	4	5		
香川	1	1	名	古	屋	山	3	7		
愛媛	1	1	名	古	屋	山	3	7		
九州芸	1	1	京	都	外	語	6	5		
東立	1	1	京	都	産	業	11	7		
横市立	4	4	京	都	女	子	6	2		
都留文	3	2	京	都	女	子	6	2		
都立	6	6	同	志	社		16	31		
静岡	6	6	同	志	社		16	31		
愛知	1	1	立	命	館		33	31		
名古屋	1	2	龍	谷			17	12		
京都市立	1	2	関	西	学	院	10	7		
京都市立	1	1	近	畿			23	16		
京都市立	1	1	関	西	学	院	10	7		
大阪府立	1	2	甲	南			1	2		
大阪府立	1	2	甲	南			1	2		
福井	1	1	そ	の	他		184	154		
神戸商	1	1	私	立	大	学	合	計	798	848
姫路	1	1	短	大	進	学	者	は	5	名
北九	1	1	短	期	大	学	6	年	7	年
その他	23	8	国	立	短	大	計	5	9	
国公立大	193	234	私	立	短	大	計	12	11	

7月30日、第17回はぐまゴルフコンペ開催(68名参加)・次回8年4月29日参加者募集中 お問合せはお申込みは同窓会本部(担当・長谷川)

部活動・委員会活動



- 〈陸上競技部〉
 - ・県大会
 - 百M 児玉恭典 6位
 - 棒高跳 小栗勇樹 6位
 - 一六〇〇Mリレー 6位
 - ・東海大会
 - 棒高跳 小栗勇樹 6位
 - ・水泳部
 - ・水球東海大会 2位
 - ・水球東海大会 予選トーナメント敗者戦 磐田南6-3大垣日大
 - 〈サッカー部〉
 - ・県大会
 - 一回戦0-6清水東
 - ・西部大会
 - ベスト16
 - 〈女子バスケット部〉
 - ・県大会
 - 一回戦52-78清水西
 - ・西部大会
 - 二回戦0-2浜松湖東
 - 敗者復活1-2浜松南
 - 〈女子バレー部〉
 - ・西部大会
 - 三回戦0-2浜北西
 - 敗者復活1-2常葉菊川
 - ・男子テニス部
 - 敗者復活1-2常葉菊川

〈地学部〉

- ・第十回山崎賞受賞
- ・山崎財団助成金授与

 〈生物部〉

- ・第三十八回静岡県学生科学賞県教育長賞受賞
- ・第三十八回日本学生科学賞入選一等

 〈自然観察部〉

- ・西部地区「生徒理科研究発表会」優秀賞受賞

 〈保健委員会〉

- ・エイズに関する調査・研究について文化祭で発表

 〈ボランティア委員会〉

- ・阪神大震災募金活動で約65万円を寄付
- ・校内へプラランターの花を設置

事務局より

会長のご信念である支部活動の活性化と年次活動の充実に向けて、西遠支部活動の再開と北遠支部復活の動きを大変心強く感じます。本部でも二月の臨時評議員会で会則の改正と支部・年次活動への助成等の方針の承認を経て新年度予算を編成し活動に入っています。最大の課題は財源をめぐりる客観情勢の激変です。この一年も多数の客員・会員の計報が届きました。見中17回の伊藤武氏は母校磐田南高校の後援会理事長を10年間つとめられ「はぐま会館」や新プールの建設、尾崎教育振興基金の設立、国際理解教育の推進など母校の現在の隆盛の基盤を作られました。また多数の同窓生が在学中お世話になった埋田準一・大桑了・松下仁平の三先生が逝去されました。そして阪神大震災で閉学に在学中の高須君が亡くなられたことも大変お気の毒なことでした。その他の逝去された皆様と合せてご冥福をお祈り致します。母校の人事異動では講師を含め17名が転退職され、校内幹事では体育の中村修先生が退職され新たに国語の駒形一路先生が赴任されました。大きな行事では第2回マウンテンビュー高校訪問が三月末から四月にかけて行われました。今春の大学合格状況は別表の通り大変成果をあげました。部活動も限られた時間の中で工夫をこらして努力しています。陸上部の小栗君がインターハイ出場、水泳部の水球が東海大会出場と立派な成果をあげました。また文化部も生物部が桶ヶ谷沼のトンボの研究で日本学生

OB文庫一覧



- ・戦禍のなかの青春 (見中19回)
- ・中世覇旅歌 (見中19回)
- ・聖なる肉の極みに雪ふりしきる (高橋喜久晴見中17回)
- ・白いベールの向こう側 (高橋喜久晴見中17回)
- ・Lロード (高橋喜久晴見中17回)
- ・メサイア界の戦士 (高橋喜久晴見中17回)
- ・再会40年 (高橋喜久晴見中17回)
- ・昭和恐慌期救済政策史論 (見中19回)
- ・安富邦雄(高7回)
- ・Not Ware 3.12Jハンドブック (高橋喜久晴見中17回)
- ・(頼伴篠治)吉田篤史 (高36回)
- ・風と木霊と (高橋喜久晴見中17回)
- ・道と小川のピエトープづくり (高橋喜久晴見中17回)
- ・市川 篤(高26回)
- ・ニュートンコレクション (全10巻)
- ・戦争と子どもたち (全6巻)
- ・「戦争と平和」少年少女の記録 (全10巻)
- ・新聞資料 原爆I・II (全10巻)
- ・日本全史
- ・世界全史
- ・20世紀全記録
- ・写真集 静岡県の絵はがき
- ・図説 遠江の城 (見中19回生一同)
- ・平和の礎
- ・伊藤万司(見中14回)
- ・戦後県政の総決算 柴田岳夫(見中11回)

編/集/後/記

第17代会長のもと、支部と年次に代表されるような縦と横の活動の充実を目指してきました。17号はそんな思いと戦後50年にこだわりました。青島秀樹さんは、総会当番年次を機に、校歌と応援歌が今年自分と同じ40歳であることを発見。「霊峰富士……」を追求していくと尾崎先生が見えてくるんですよ」と。そして、木野省三さんも。総会日発行の使命を重く受けとめ、次号のスタートとします。(洋)

小松正治 梅葉修司
山本達男 橋本洋子
橋本迪子 村田教子
橋本厚子 大石昭子
橋本潤子 村松あき子
橋本容子 松村典子



県内3ヶ所で出版披露パーティを開く

- ・阿修羅 (梓澤 要)永田道子 (高24回)
- ・随想 遊と行(第4集) (高24回)
- ・石川博敏(見中4回)

頑張っています高20回卒生

- 米沢康年 大 孫
- 小林誠次 小林建設(株)
- 堀内豊 堀内土木

美しい装い格調のきもの専門店

丹丹羽屋

丹羽主弥(高18回)

袋井銀座 TEL(0538)42-4018・42-5720

お年寄りの保育園
(高齢者介護ホーム)

シオンの家

佐々木信二(高18回)

磐田市西貝塚安久路2356 Tel 35-4073